

平成 19 年度当初予算 施策別概要

2 3 3 観光・交流産業の振興

(主担当部：農水商工部観光局)

- 23301 三重県観光の新たなイメージづくりと情報発信・誘客戦略の推進 (農水商工部観光局)
- 23302 多様な主体による観光の魅力づくり、人づくり (農水商工部観光局)
- 23303 観光客の快適性の向上に資する社会基盤整備 (農水商工部観光局)

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) 活発な観光・交流産業の活動を通じて、「住んでよし、訪れてよし」の魅力ある、個性的な地域づくりを進め、地域に誇りと愛着を持ち、豊かな生活を営んでいる

< 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	観光レクリエーション入込客数	目標値	4,650万人
		現状値	4,470万人 (2005 年度)

1 年間に観光レクリエーション等の目的で、県内の観光地を訪れた人数の推計値(観光レクリエーション入込客数推計書)

県の取組 目標項目 (副指標)	観光客満足度	目標値	70.0%
		現状値	65.4% (2005 年度)

< 現状と課題 >

- ・三重県の観光については、近年、2004 年(平成 16 年)の熊野古道(伊勢路)世界遺産登録、2013 年(平成 25 年)の伊勢神宮式年遷宮に向けた諸行事の開催(2005 年 平成 17 年 ~)など全国的に注目を集めているほか、中部国際空港の開港(2005 年 平成 17 年 2 月)、中国全土への団体観光ビザ発給開始(2005 年 平成 17 年 7 月)等の環境変化も加わり、国内外からの誘客を増大するチャンスが高まる一方で、激化する国内外の観光地間競争への対応を迫られる状況にあります。
- ・三重県がこのチャンスを生かし、厳しい観光地間競争に勝ち残り、観光・交流の振興を地域活性化につなげていくためには、訪れる人の視点と地域住民の視点の双方にたった地域づくり、観光振興と地域づくりの一体化、魅力ある地域を創りあげる「総合力」の発揮が重要な鍵となります。
- ・このため、2004 年(平成 16 年)11 月に策定した三重県観光振興プランに基づき、多様な主体と協働した総合的な取組を着実に展開していくことが必要です。

< 平成 19 年度の取組方向 >

三重県観光振興プランに基づき、「民間が主役、行政は支援」の基本姿勢に立ち、三重県観光の新たなイメージづくりと情報発信・誘客戦略、多様な主体による観光の魅力づくり・人づ

くり、観光客の快適性の向上に資する社会基盤整備を推進していきます。特に、地域がそれぞれの観光戦略に基づき展開する主体的、意欲的な取組を重点的に支援し、観光振興と地域づくりの取組の一体化を進めることにより、強じんて持続可能な観光構造の構築に向けた取組を展開し、観光・交流産業の振興ひいては地域全体の活性化につなげていきます。

三重県観光販売システムズや社団法人三重県観光連盟等の民間のノウハウを積極的に活用して、本県の魅力を県内も含めた、首都圏・関西圏・中部圏・海外等、エリアごとの情報発信、誘客戦略を展開していきます。

観光プロデューサーのノウハウの活用等を通じて、「こころのふるさと三重」づくりの取組と連携し、地域資源を最大限活用した魅力づくりやひとづくり、快適空間・交流空間づくりなどに取り組み、「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりにつなげていきます。

<主な事業>

(重)「旅ごころ誘う三重奏」誘客戦略推進事業

【基本事業名：23301 三重県観光の新たなイメージづくりと情報発信・誘客戦略の推進】

当初予算額： 87,391千円 133,000千円

事業概要：三重県観光販売システムズのノウハウを活用して、首都圏・関西圏・中部圏・県内等エリア別の情報発信・誘客活動を展開します。

(重) 外客誘致推進事業

【基本事業名：23301 三重県観光の新たなイメージづくりと情報発信・誘客戦略の推進】

当初予算額： 46,051千円 25,515千円

事業概要：国のビジット・ジャパン・キャンペーン事業に呼応し、今後訪日客の増加が予想される東アジア地域を中心に、各種プロモーションや誘客活動を展開します。

(重) 三重の観光プロデューサー設置事業

【基本事業名：23302 多様な主体による観光の魅力づくり・人づくり】

当初予算額： 10,992千円 10,992千円

事業概要：観光プロデューサーのノウハウを活かして、新たな観光の魅力づくり、商品開発を進めるとともに、そのプロセスを通じてノウハウの蓄積・交流等人材育成につなげていきます。

(重) 魅力ある観光地グレードアップ支援事業

【基本事業名：23302 多様な主体による観光の魅力づくり・人づくり】

当初予算額： 37,421千円 25,272千円

事業概要：本物志向の取組や新たなツーリズムへの対応など、観光地間競争に勝ち残るために地域が主体となっていく多様な観光の魅力づくりを支援します。

(重) 熊野古道シャトルバスの活用による熊野古道の魅力増進事業

【基本事業名：23303 観光客の快適性の向上に資する社会基盤整備】

当初予算額： 12,204千円 12,204千円

事業概要：全ての熊野古道と熊野古道センターをつなぎ、古道を生かした地域づくりに不可欠なアクセス確保につながる熊野古道シャトルバスを運行します。